



No. 132 (令和元年 7 月 1 日)

お も な 内 容

ページ

随想	1
研修講座寸描	2
今年度の研究内容	3
研究協力校の紹介	4
夏季研修講座の一覧	5
教育講演会・出前講座の紹介	6
受講後アンケートの集計結果	
Web サイト紹介	7
心に残る授業 その79・人事短信	8

道徳「お月さまとコロ」では、素直に謝ることができないと気持ちにモヤモヤしたり、暗い気持ちになったりすることについて、登場人物を通して考えることができました。自分自身が今までの生活の中でできていたことをグループの意見交流で前向きに発表することができました。

(旭川市立向陵小学校)

随 想

些々たることではありますが



上川教育研修センター

所 長 佐 藤 保

講義中にペットボトル等の飲み物を机の上に置くことは是か非か。

昨年度末、センター内の会議でこの是非が話題になりました。

これまで当センターでは、講義中のマナーとしてペットボトル等の飲み物を机の上に置かないよう受講の先生方に御協力をお願いしてきました。

しかしながら、夏季の熱中症予防の意識が広まった数年前からマイボトルを持参してくる先生が見受けられるようになってきました。

また、公的な会議等でも机上にペットボトルが配られるようになってマナーのあり方も変わりつつあるように感じます。

十年ほど前のことですが、私はつくば市にある独立行政法人教員研修センター(現つくば中央研修センター)で研修を受けました。

講義に際して、講師が入退室するときには上着を着て起立すること、講義中は腕組みをしないことなどが指示され、そのときの驚きを今も覚えています。

現在の状況を調べてみると、『研修の栞』には講義中のマナーとして、録音・撮影の禁止や携帯電話のオフに加えて次

のような事項が記載されていました。

・ペットボトル等の飲み物は机上に置かないようにしてください。

・頬杖、腕組み、足組みは御遠慮ください。

つくば中央研修センターでは、今なお厳しいマナーが求められているようです。

思案に暮れたところで、旭川市まごころ接遇アドバイザーの素野香織さんに相談してみたところ、

「以前なら講義中に飲み物の容器を机上に置かないことは常識だったかもしれませんが、この頃は一律にこうすべきだと断定するのは難しいようです。体調に配慮するなどマナーの捉え方や内容も変わってきているように思います。」

そこで今年度は、講義中に水分を補給しても結構ですが、飲み物の容器等は机上に置かないようお願いすることにしました。ただし、講師の先生の意向や環境状況に応じて対応していくことにします。

些々たることではありますが、明快な答えが出ず、所員一同考え倦めた末の結論でした。

さて、皆さんはこのことは是非をどう思われるでしょうか。



センター日誌

4月1日	新任所員就任
4月11日	研修講座講師委嘱状交付式
4月17日	講座内容研究協議会
4月25日	パソコン講座運営委員会議
4月25日	5月実施の講座受講申込締切
4月26日	り
5月8日	講座受講申込一次締切り
6月7日	研修講座開始(特別支援教育①)
6月7日	パソコン講座開始
7月1日	(校務のための表計算入門)
7月1日	センターだより第132号発行
※ 毎週火曜日	研修講座講師打合せ会議
※ 随時	



本校では、道徳の教科化に向け、校内研修で道徳についてとりあげ、全ての教員が道徳授業を行い、発問の工夫を通じて自ら考えさせる道徳の授業づくりに取り組みました。

(富良野市立山部中学校)

研修講座
寸描
その1

委嘱状交付式、 講座内容研究協議会



四月十一日、三十四講座の講師八十七名にお集まりいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び講座内容研究協議会を開催しました。

上川教育局、旭川市教育委員会の方々が列席される中、講師を代表して安達啓一東川町立東川中学校長が上川教育研修センター組合教育委員会赤岡昌弘教育長から、講師委嘱状を受け取りました。

その後の講座内容研究協議会では、教職員等の資質・能力の総合的な向上を目指す。

指して、各講座の講師と運営者が意見を話し合い、講座の内容や日程等について話し合いを行いました。

研修センターでは、受講者のニーズに応える講座内容を実施しております。小中の連携を重視し、小中研究授業を取り入れた講座、今日的な教育課題を踏まえた講座、演習・実技等を取り入れた研修講座など、研修内容を広く教育現場で活用できるように考えております。

皆様の受講をお待ちしております。



2 特別活動 5 / 9

鈴木 康弘(土別南小 校長)
薬師寺要次(東光小 主幹)
亀島 秀元(旭川小 教諭)
中本 厚(神楽中 教諭)

Ⅱ 講師Ⅱ



学級経営の大きな力となる学級活動の指導について具体的に示していただき、多くのことを学ぶことができました。また、指導案作成や実践交流を通して、明日から役立つ指導方法を考えることができました。ありがとうございました。

(名寄市立智恵文小学校 上原和希子)

講座の様子から

上川教育研修センター 第17次研究3年目スタート

本年度より、上川教育研修センター第17次研究3年目がスタートしました。昨年度の成果と課題を踏まえ、「深い学びを実現する学習指導の在り方」について研究を行います。皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めて参ります。6月には研究員、8～11月には研究協力校3校による授業実践を行います。そして、2月のセンター発表会では、研究員による授業公開を通し、第17次研究のまとめとします。各校に御案内させていただきますので、多くの皆様の御参観をよろしくお願いいたします。

研 究 主 題

深い学びを実現する学習指導の在り方

～各教科における主体的・対話的な学びを通して～

求める児童生徒像

各教科等において生きて働く「知識・技能」を習得し、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を高めながら、「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けた児童生徒。

研 究 の 仮 説

目標と手立てが合致した単元の指導計画及び具体的な児童生徒の姿を見取る評価計画を作成するとともに、自己の学習を見通し振り返る主体的な学びと、思考を広げ確かな学びに向かう対話的な学びを重視した本時の授業展開を工夫することにより、児童生徒の深い学びを保障できるであろう。

研 究 内 容

【研究内容1】

単元の指導計画・評価計画の作成

(1) 指導計画

- ①指導内容の明確化
 - ・学習指導要領を基にした分析
 - ・目標・課題・まとめ・評価の整合
- ②深い学びを実現する単元構成
 - ・深い学びを充実させる視点
 - ・主体的・対話的な学びの位置付け

(2) 評価計画

- ①評価内容の焦点化
 - ・観点別評価
 - ・指導に生かす評価・記録に残す評価
- ②見取りの具体化
 - ・児童生徒の具体的な姿
 - ・評価の場面と方法

【研究内容2】

本時の授業展開の工夫

(1) 主体的な学び

- ①見通し
 - ・学習課題の提示
 - ・課題解決の方法や手順
- ②振り返り
 - ・学びの成果
 - ・解決の過程

(2) 対話的な学び

- ①対話の目的
 - ・方向性の設定
 - ・論点の明確化
- ②対話の方法
 - ・場や形態の設定
 - ・互いの考えの可視化

学びの基盤

支持的風土の醸成

教室環境の整備

学習規律の確立

令和元年度「研究協力校の紹介」

士別市立士別南中学校

一 学校概要

士別南中学校は、士別市の南部に位置し、西側には商業施設がまとまっており、東側には「川西の丘」が広がる、自然豊かな景観と経済活動の基盤とに挟まれています。

生徒数は、一年生が五四名、二年生が六三名、三年生が六六名の合計一八三名で、各学年とも二学級ずつで様々な活動に取り組んでいます。今年度から、コミュニティースクールとしての取組が始まり、地域の方による学習支援などを行っています。

また、北海道で初めての部活動拠点校方式を採用しており、同市にある士別中学校と協同で、子供達の活動を応援しています。

二 教育目標

「人間性豊かな生徒の育成を目指して」

- 一 心情の豊かな生徒
- 二 知性の高い生徒
- 三 意志の強い生徒
- 四 心身の健康な生徒

三 年度の研修の重点

「自ら×仲間と学びを深める生徒の育成」
「ゴールの姿を明確にした単元の指導計画を通して」



旭川市愛宕東小学校

一 学校概要

旭川市の中心部から東方5kmに位置し、校舎東側は遠く雄大な大雪山連峰を望むことができます。学校周辺は、昭和五十九年頃から住宅地として区画整備が行われ、以後、新興住宅地として発展し、現在では住宅街に囲まれた学校という様相を呈しています。

愛宕地域の東端にある学校という意味と先人が拓いた価値ある郷土名を大切にしながら愛宕の「愛」にちなんで愛情に満ち満ちた教育の推進を願って愛宕東小学校と決定しました。

令和元年度は、学級数二十五学級、児童六百七名です。一人一人の居場所があり、確かな力を育む学校を目指して教育活動を展開しています。

二 教育目標

「豊かな心をもち 実践しようとする子」
かしこい子【知】
やさしい子【徳】
げんきな子【体】

三 年度の重点

「未来に向かって 自分をみがく子」
「思い合い 学び合い」



旭川市立啓明小学校

一 学校概要

旭川市発展と人口増加に伴い、昭和四年一月に朝日小から分離して公立旭川市啓明尋常小学校として創設されています。開校九十周年超の伝統を有し、十七学級、児童二八七名の中規模校です。

南北に一条通り右から南九条通りまで、東西は一七丁目から二六丁目を校区としており、市街地で工場や商店が散在しています。旧宮前地区開発による北彩都計画で交通量が増大してきています。校名の「啓明」は「明けの明星」金星の異名で、

明けの明星が学舎に輝き希望に燃える一日の始まりを期待し、「光は東方より、啓明は教育の明星たれ」との高邁な建学の精神を受け継いでいます。児童のよさや可能性を拓く教育活動の工夫と異学年交流によるふれあい班集会や縦割り清掃を通して、自主性や連帯感の育成に努めています。

二 教育目標

進んで学び、心豊かでたくましい子供の育成

三 年度の重点

研究協力校としての取組を通して、『主体的に学び、互いに認め合い、高め合う子供の育成』の達成を目指していきけるように、全教職員が一丸となつて授業改善を進めていきます。



長期休業を利用して研修を深めませんか

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申込みを随時受け付けております。

受講を希望される場合は研修センターのFAX（24－2512）にお申込みください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月25日（木）	国語科指導①	研修センター	2日目 9月3日（火）
7月25日（木）	学校で役立つタブレットPC入門①	研修センター	パソコン講座
7月26日（金）	算数・数学科指導①	研修センター	2日目 8月29日（木）
7月26日（金）	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2日目 9月5日（木）
7月29日（月）	生徒指導①	研修センター	2日目 8月26日（月）
7月29日（月）	幼保小連携教育	研修センター	
7月29日（月）	授業で役立つタブレットPC活用①	研修センター	パソコン講座
7月30日（火）	道徳科指導①	研修センター	2日目 8月26日（月）
7月30日（火）	理科指導①	研修センター	2日目 8月27日（火）
7月31日（水）	校務で役立つタブレットPC活用①	研修センター	パソコン講座
8月1日（木）	教育講演会	大雪クリスタルホール	本紙6ページ参照
8月5日（月）	学校事務実務	研修センター	
8月7日（水）	社会科指導①	研修センター	2日目 10月10日（木）
8月7日（水）	学校で役立つタブレットPC入門②	研修センター	パソコン講座
8月8日（木）	学校力向上対策	研修センター	
8月8日（木）	いじめ・不登校	研修センター	
8月8日（木）	授業で役立つタブレットPC活用②	研修センター	パソコン講座
8月9日（金）	外国語（英語）指導①	研修センター	2日目 9月4日（水）
8月9日（金）	校務のための表計算活用①	研修センター	パソコン講座
～夏季休業終了直後に開催予定の研修講座～			
8月26日（月）	道徳科指導②	近文第2小／光陽中	
8月26日（月）	生徒指導②	東光中／永山西小	
8月27日（火）	理科指導②	西御料地小／東明中	
8月29日（木）	算数・数学科指導②	陵雲小／春光台中	
9月3日（火）	国語科指導②	大有小／忠和中	
9月4日（水）	外国語（英語）指導②	永山小／神居東中	
9月4日（水）	校内研修	豊岡小	
9月5日（木）	生活科・総合的な学習の時間②	末広北小／永山中	
9月10日（火）	I C T活用	北光小	今年度は小学校の授業公開

上川教育研修センター

教育講演会

➤と き 8月1日(木) 14:00～16:30

(開場 13:30 講演開始 14:00)

➤ところ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室

(旭川市神楽3条7丁目)

演 題

「新小学校学習指導要領外国語教育について、
全面実施までに、今、取り組みたいこと」

講 師

直 山 木綿子 氏

文部科学省初等中等教育局 視学官



【講師紹介】

- ・英語科教諭として京都市立中学校2校に勤務
- ・平成10年度 京都市立永松記念教育センター 研究課研究員
- ・平成15年度 京都市総合教育センターカリキュラム開発支援センター 初等英語担当指導主事
- ・平成18年度 京都市総合教育センター指導室 指導主事
- ・平成19年度 京都市教育委員会学校指導課・教育センター指導室 指導主事
- ・平成31年度～現職

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

「出前講座」を御活用ください！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・パソコン実技・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込は、随時受付けております。「研修講座開催要項」p.31に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへFAXで送付してください。

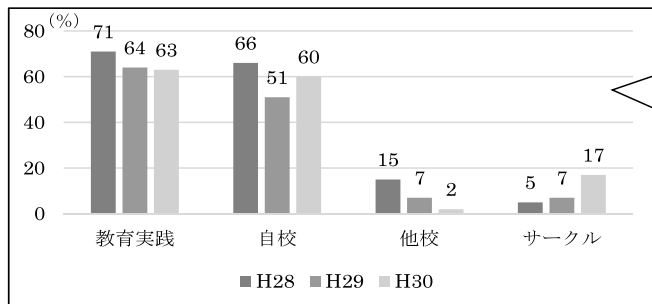
講座内容例

今日的な教育課題	学力向上、道德教育、幼小連携、小中連携、ICTの活用等
教科等指導(国、算等)	指導計画、評価、言語活動等、校内研究にかかわる事項等
小学校外国語活動	様々なアクティビティ、ALTとの効果的な指導の在り方等
各種実技指導	リコーダー(音楽)、毛筆(書写)、器械運動(体育)等
生徒指導	構成的グループエンカウンター、教育相談等
特別支援教育	各種発達障害の理解、個別の支援計画、交流および共同学習等
パソコン実技	表計算、画像処理、プレゼン、タブレットPC活用方法等

平成 30 年度受講後アンケートの集計結果 ～御協力ありがとうございました～

当研修センターでは、研修講座の受講後 2～3 か月を目途に御回答いただく「受講後アンケート」を実施しました。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

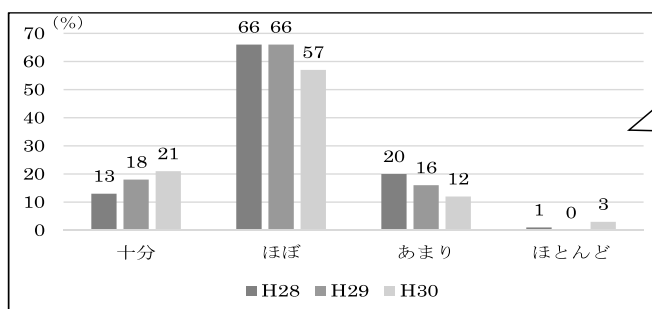
設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



平成 30 年度も、6 割以上の受講者に、研修の成果を日常の教育実践に生かしたり、自校の教職員へ情報を発信したりしていただいたことがわかりました。

今後も、研修の成果が受講者はもちろん、広く教育現場に生かされるような講座をめざして一層努力してまいります。

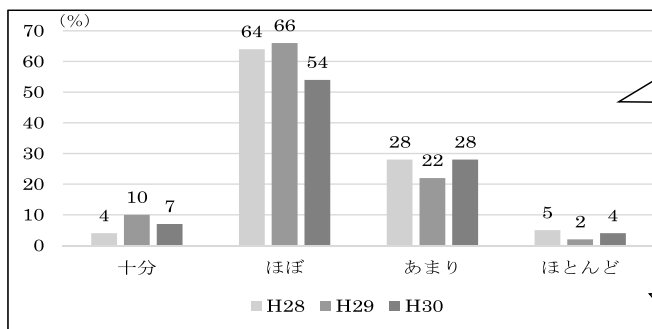
設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



「十分にみられた」「ほぼみられた」を合わせると、およそ 8 割の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。

記述では授業づくり、指導案作り、自分のスキル向上、授業改善の参考になりましたという御意見がありました。今後も日常の実践にすぐに生かすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容が見られましたか。



効果や変容が見られたという記述には、児童が授業中発言することが増えた、先生方の意識が変わってきているなどがありました。

今後も自他の効果的なかわりを見い出すことができる講座内容となるよう努めてまいります。

およそ 3 割の受講者から「あまりみられなかった」「ほとんどみられなかった」という回答をいただきました。

期間が短く変容が見えるまでに至っていない、確認できる場がなかった、次年度の研修に生かしたいなど、今後の継続的な取組に期待する記述が多く見られました。

今年度から「受講後アンケート」に代わり「受講後調査」を実施します。講座の成果を推し測り、より多くの受講者の御意見を反映するための簡単な調査です。

2～3 か月を目途に、当研修センター Web サイト上で、御回答ください。タブレットや携帯端末からも御回答いただけます。今年度も御協力をよろしくお願いいたします。

Webサイトを御利用ください！

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書、研究紀要等がダウンロードでき、過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることもできます。また、センターで所蔵している資料名を閲覧できるので、お探しの資料があれば貸し出しすることもできます。さらに、施設の使用や宿泊についても詳細を見ることができるので、ぜひ、御活用ください。



心に残る授業

その79



旭川市教育委員会
教育指導課
馬場 大輔

授業においては、資質・能力の育成を目指すとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現が大切です。今回紹介させていただくのは、それが見事に具現化された授業です。学習内容は、六年生の「水溶液」の単元で、アルミニウムを溶かした塩酸を蒸発させて出てきた「白い粉」がアルミニウムかどうかを調べる学習です。

子どもたちは、六つの実験方法を考え、グループごとに選択した実験を行っていました。

実験が終わり各グループの実験結果が黒板に掲示されると教室全体が「？」という雰囲気になりました。磁石で調べたグループだけ「白い粉はアルミニウムである」とほかのグループと結論が異なっていたからです。そのグループの児童は、アルミニウムと白い粉のどちらも、磁石に引き付けられなかったので、白い粉

はアルミニウムと同じと考えたと説明しました。その瞬間、ほかのグループの子どもたちが一斉に挙手し、交流が始まりました。「磁石に引き付けられないなら鉄ではないことは確かだけど…」「鉄じゃないからといって、アルミニウムとはいえないんじゃないかな。」などと意見が出され、「白い粉はアルミニウムとはいえない」という結論が導き出されました。

今回の授業は、見通しを持って実験し、実験結果を基に根拠を持って友達と議論し、育成を目指す資質・能力を獲得する主体的・対話的で深い学びが実現したものでした。このような授業を実現するためには、例えば、本実践のように実験を複線型にし、対話の必要性を生み出すことが大切であり、教師の明確な指導観に立った単元デザインが重要であることを学ぶ事ができました。

また、友達の発表を真剣に聞いた子、協力して実験に取り組んだりする子どもたちの様子から、主体的・対話的で深い学びの実現には、学習規律の徹底や望ましい人間関係づくりも大切であることを学ばせていただきました。

人事短信

新任

事務部長

花香 純夫



学校教育に関わる初めての仕事に、毎日緊張と新鮮な驚きを発見しながら取り組んでいます。よろしくお願いたします。

指導員（高台小）

森 走平



研修講座や出前講座が皆様にとつて有意義な講座となるよう、精一杯努力します。どうぞよろしくお願いたします。

研究員（鷹栖中）

村越 恵一



上川管内の各学校、先生方に活用していただける研究を目指し、尽力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

研究員（永山西小）

小林 豊



上川管内の各学校や先生方に少しでも何か貢献することができるよう、努めてまいります。よろしくお願いたします。

令和元年度就任・退任の研修センター所員を紹介します。

退任

お世話になりました。

・前事務部長 佐藤 美恵子

・前指導員 三上 大輔

・前研究員 遠藤 聡志
(美瑛町立美瑛東小学校)・前研究員 望月 俊綱
(旭川市立永山中学校)
(上川教育局義務教育指導班主任指導主事)

○研修センター所員

所長 佐藤 保

副所長 福家 尚

事務部長 花香 純夫

事務係 笹谷 青子

事務係 上光さゆり

指導員 佐藤 徳嗣
(緑が丘中)指導員 山中 芳子
(旭川小)指導員 森 走平
(高台小)指導員 伊藤 健治
(西神楽中)指導員 清水 忠明
(愛宕小)研究事業部長 田村 仁
(美瑛町・美瑛小)研究員 吉野 和気
(永山南小)研究員 斎藤 邦彦
(当麻町・当麻小)研究員 村越 恵一
(鷹栖町・鷹栖中)研究員 小林 豊
(永山西小)発行日 令和元年七月一日
上川教育研修センター
〒〇七〇―〇〇三六
旭川市六条通四丁目責任者 佐藤 保
印刷所 株式会社あいわプリント

※この用紙は再生紙（古紙70％）を使用しています。